

# 工事写真報告書

工事番号 平成 26 年度

工事名 M 様邸

工事箇所 防水・外壁・その他 塗装工事一式

工事住所 行橋市 道場寺

工期 着手 平成 年 月 日

竣工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



コンクリート防水

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながります。



コンクリート防水

同上



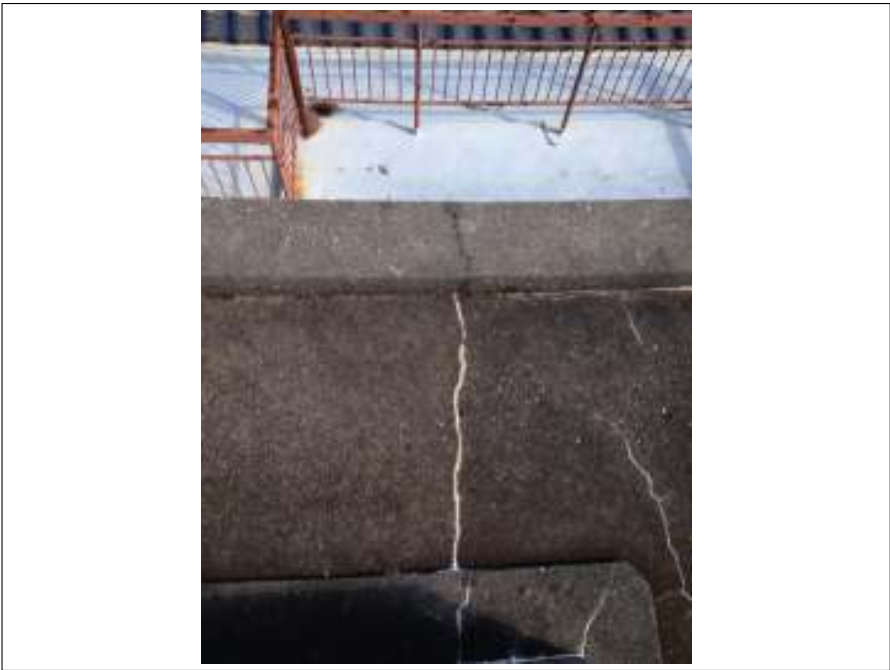
コンクリート防水

同上



クラック部

劣化している部分があります。  
この部分から雨水や湿気、炭酸ガス  
等が直接侵入し躯体・ボードの痛み  
や建物の寿命につながりますので、  
シーリング等で補修ををおこない塗  
装をしていきます。



クラック部

同上



クラック部

同上



### 伸縮目地 劣化部

伸縮目地が押えコンクリートの挙動により突き上げられている状態です。

また伸縮目地部分に雑草やコケが生えています。このままだと根が防水層を浸食するので、早めの対処をお勧めします。



### チョーキング現象

紫外線などにより塗膜の表面が劣化し、チョークの粉状のような状態になっています。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。



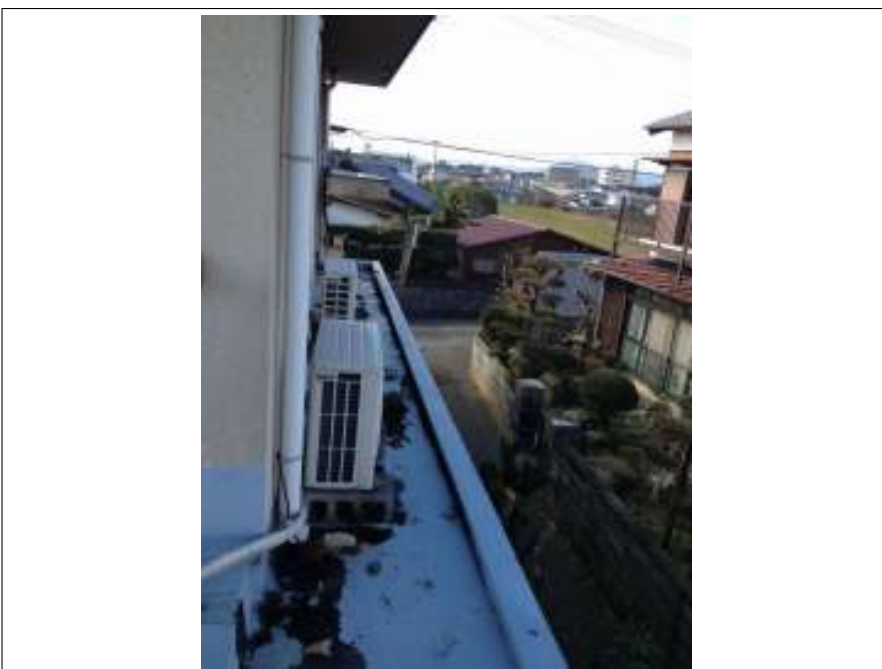
### バルコニー部

同上



バルコニー部

同上



バルコニー部

同上



手摺

こちらは鉄素材になり、劣化するとサビが発生し腐食してきます。

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



### 軒天 劣化部

---

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながります。

---

---



### 軒天 劣化部

---

ヒビ割れや剥離の劣化が進むと、中野鉄筋が酸化して膨張し、爆裂を起こしてしまい、外壁や建物の欠落につながり、建物の寿命を短くしてしまいます。

---

---

---



### 軒天 爆裂部

---

キレツ・クラック・剥離が進み、爆裂を起こし中の鉄筋が見えてきます。

さらに進むと酸化は早く建物に広がってきますので、早めの補修・塗装をお勧めします。

---

---



軒天 爆裂部

先ほどの鉄部同様、サビが発生しているうえに補修・塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



軒天 爆裂部

同上



軒天 爆裂部

同上



### 塗装 ピンホール

吹付け塗装施工時に、空気を巻き込んでしまい、乾燥過程でその空気が抜ける際に出来る穴のことです。

この現象も、防水効果を損なうことになりますので、下地処理下塗りをしっかりおこなう必要があります。



### 外壁 クラック部

劣化している部分があります。この部分から雨水や湿気、炭酸ガス等が直接侵入し躯体・外壁の痛みや建物の寿命につながりますので、シーリング等で補修ををおこない塗装をしていきます。

作成者：戸高 勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

